



無料法律相談所開設

次のとおり無料法律相談所を開設します。

◆日時 10月16日(水)

午後1時～午後4時

◆場所 余市中央公民館2階

◆定員 6人

(1人の相談時間は30分)

【申込・問合わせ先】

余市町役場 総務課

TEL 21 2 1 1 2

※ご利用される方は、事前に申し込みが必要となります。

自衛官候補生を募集します

自衛官候補生(男子)を募集しています。

応募資格等の詳しい内容はお問い合わせください。

【問合わせ先】

自衛隊札幌地方協力本部

小樽地域事務所

TEL 0134-2215521

大規模な建築物に耐震診断の実施が義務化されます

建築物の耐震改修の促進に関する法律が改正され、昭和56年5月以前に着工された建築物のうち、不特定多数の方が利用する大規模な建築物等について、耐震診断の実施とその結果の報告が義務化されます。報告先は、建築基準法の建築確認を申請した行政庁(所管行政庁)です。

【問合わせ先】

積丹町役場建設課

TEL 0135-4413383

里親制度をご存知ですか？

厚生労働省では毎年10月4日を「里親デー」、10月を「里親月間」として制定し、里親の登録促進、里親の養育技術の向上等を図っているところです。

「里親」とは様々な事情により家庭で暮らせなくなった子どもたちを、自分の家庭に迎え入れて養育する方のことを言います。

す。

「里親」は特別な方しかないわけではない、実際にはどこにでもいる普通の家庭のお父さん、お母さんたちです。

里親登録数が多い地域と少ない地域があるため、管内各地に里親さんが増えていくことが望まれています。

ぜひ、里親として登録され、家庭で生活できない子供たちの養育を担っていただければと思います。

【問合わせ先】

北海道中央児童相談所

TEL 011-631-0301

北海道地方税等合同公売会開催のお知らせ

税金の未納者に対して捜索・差押した動産の合同公売会を実施します。合同公売会は実際に公売物件を目にして入札等をすることが出来ます。

◆日時 10月20日(日)

午前11時から

◆場所 道庁本庁舎1階ロビー

◆公売参加に必要なもの

- 1 印鑑(認め印)
- 2 身分証明書(免許証・保険証等)

- 3 委任状(代理人が入札する場合)
- 4 買受代金(現金)

【問合わせ先】

後志総合振興局小樽道税事務所

TEL 0134-2319441

戦没者の妻及び父母等の皆様へ

～次の戦没者の妻及び父母等の方に新たに特別給付金が支給されます～

＜戦没者の妻の方＞

- 平成15年4月1日から平成25年3月31日までの間に夫が死亡したことにより、平成25年4月1日において公的扶助、遺族年金等を受ける権利を有し、平成25年10月1日に生存している戦没者の妻の方(額面20万円、10年償還の記名国債)
- 平成18年に最終償還を迎えた戦傷病者の妻に対する次の特別給付金を受けていた方で夫である戦傷病者が平成15年4月1日から平成18年9月30日までの間に死亡(公務死亡・勤務関連死亡)したことにより、平成25年10月1日において公務扶助料、遺族年金を受ける権利を有する戦没者の妻の方
 - 第一八回特別給付金「い」号
 - 第二十回特別給付金「い」号

＜戦没者の父母等の方＞

- ◆ 平成15年4月1日から平成25年3月31日までの間に子又は孫が死亡したことにより、平成25年4月1日において公務扶助料、遺族年金等を受ける権利又は受ける資格を有し、かつ、平成25年9月30日までの間に氏を同じくする子も孫も有するに至らなかった戦没者の父母等の方(額面10万円、5年償還の記名国債)

請求期間 平成25年10月1日～平成28年9月30日

【問合わせ先】住民福祉課 TEL 0135-44-2113

今月の納税

納期内完納にご協力ください

- 国民健康保険税 第4期・納期限 10月25日
- 町道民税 第3期・納期限 10月31日

積丹いろいろ

まちの歴史再発見！

冬の民具

まもなく冬がやってきます。北海道に残る冬の民具は、先人が厳しい冬をどのように過ごしたのか、その様子を今に伝えています。

積丹町にも、かんじきやつまご、深靴、蓑などの民具が数多く残されています。今回は、その一部をご紹介します。

かんじきは、北半球の降雪地域で使われる雪上歩行具で、ヨーロッパや北アメリカ、アジアに分布しています。日本では、縄文時代晩期（約3000年前）から使われていたとされ、全国各地に様々な形態のものが残されています。

主な製作方法は次のとおりです。

- ①材料となるコクワやイタヤ等を熱湯に浸す、あるいは蒸すなどし、円形、または半円形に曲げます。
- ②曲げた材料が元に戻らないよう固定し、乾燥させます。
- ③乾燥した材料を縄や針金で固定し、輪を作ります。
- ④輪の中央に緒を取り付け、組み立てます。

北海道を含む日本のかんじきは、板や細い竹で作られた板状型、1本の材料で輪を作り、円形や楕円形で構成される単輪型、2本の材料を中央部で固定した複輪型の主に3種類があります。

板状型は玄関前の雪踏み等に使用された簡易なもので、単輪型は、主に中国地方から北陸地方で使用されていました。東北・北海道地方では、3種類の中で

今月の担当は・・・



教育委員会生涯学習課
文化財保護主事 阿部 剛

もつとも頑丈な複輪型が用いられ、町内に残されているのもこの形です。



かんじき（複輪型）

現在、幌武意小学校に保管されているかんじきを見てみると、輪の形や先端部の反りの角度、2本の材の結び方や緒の取り付け方など、それぞれに工夫がみられ、同じ形のものもふたつとしてありません。

また、人だけではなく馬に取り付けるかんじきも残っています。馬は着地面積が小さく、雪

の上では足が沈んでしまいうため、金属製の輪に縄を巻いたかんじきを蹄に取り付け、山仕事などに用いられていました。写真のものは、婦美で使用されていたものです。



馬用かんじき

これらの他、アイヌ民族は、「チンル」と呼ばれるひょうたんの形をした単輪型と、「テシマ」と呼ばれる複輪型のかんじきを使用していました。

かんじきに固定された履物は、主につまごや深靴です。つまごは「爪子」「雪靴」とも書き、草履のつま先から足の甲、踵部分を覆ったもので、ゴム靴が多く出回った昭和初期まで、一般的な冬の履物でした。深靴は、藁で作られた長靴ともいうべきもので、底が厚く、雪の中での労働により適した形をしています。

蓑は、防雪・防寒具として使

われたものです。写真のものは丸山より寄贈されたもので、子供用です。肩と背中を覆うための形をしており、「けら」とも呼ばれていました。



蓑 (みの)

つまごや深靴、蓑などの藁細工は、保存状況によつてはカビや虫食いが発生する場合もありますが、積丹町に残るものは保存状況も良く、昔の生活を物語る貴重な資料となっています。なお、教育委員会では、10月5日(土)に行われる第5回少年教室(小学生対象)において、かんじき作りを体験し、その歴史と使い方を学ぶプログラムを実施します。多くの皆様の参加をお待ちしています。

10月のこよみ

4(金)	◆高齢者のための運動教室 (10:00~総合文化センター3階多目的室) 『第2回「いつでも・どこでも・だれでも」できる手軽な運動』	16(水)	●乳幼児健診・健康相談 (12:00~ 総合文化センター娯楽室)
5(土)	●「J Tの森」森林保全活動 (10:00~積丹川流域エリア) ●第5回少年教室「かんじき作り」 (9:00~B&G海洋センター)	20(日)	●美国小学校学芸会
6(日)	●美国中学校文化祭 ●みなと保育所運動会 (9:00~みなと保育所)	22(火)	◆第22回B&G財団会長杯バレーボール大会 (8:30~ B&G海洋センター)
8(火)	●北海道原子力防災訓練 (8:30~16:00泊発電所周辺13町村など)	24(木)	◆第29回町内ゲートボール大会 (9:30~ ふれあいゲートボール場)
11(金)	●第4回リフレッシュ学級「健康づくり」 (9:00~ ふれあいゲートボール場) ◆高齢者のための運動教室 (10:00~総合文化センター3階多目的室) 『第3回「いつでも・どこでも・だれでも」できる手軽な運動』	25(金)	◆高齢者のための運動教室 (10:00~総合文化センター3階多目的室) 『第4回「いつでも・どこでも・だれでも」できる手軽な運動』
12(土)	◆国有林自然散策会 (13:00~ 婦美町国有林)	26(土)	●第6回少年教室兼第5回リフレッシュ学級 「しめなわ作り」 (9:00~ B&G海洋センター)
13(日)	●余別小学校学芸会	27(日)	●日司小学校学芸会
		31(木)	●第43回積丹町文化祭(展示の部) ●介護者元気教室「町外視察」 (10:00~)

「◆」は、別に参加者募集のお知らせをします。
※都合により日程が変更になる場合がありますので、
I P電話や回覧などでお確かめ下さい。

文芸だより

— 10月の俳句 —
(美国踏青俳句会)

墓洗ふけふ父の沖とく晴れて
女下駄の朱色の鼻緒夏の宵
八畳間の風を入れかえ盆支度
父の遺句カサブランクの香の中に
耳底に残る玉音終戦日
さくさくとじ時の形の初胡瓜
亡き父の開襟シャツにて草を刈る
焼肉の匂ひの中の夏の浜
しゃきしゃきと喉元はせる初胡瓜
出迎えの津軽訛りや夏さ中
炎天も花の間もれ来て穏やかに

成田智世子
藤原 わ子
戸来 和子
山口 笑子
東 美知
入江 幸子
菊谷 知子
河岸 悟郎
小寺 猛
山崎美枝子
土沼 清

善意に感謝します 社会福祉法人 積丹町社会福祉協議会

戸島 直子 様(余市町) 50,000円

10月の余市管内休日当番病院等

診療時間 - 午前9時~午後5時

日(曜日)	医療機関名	住所	電話番号
6日(日)	勤医協余市診療所	余市町黒川町	22-2861
13日(日)	ながい小児科医院	余市町大川町	23-6881
14日(月)	田中内科医院	余市町浜中町	22-6125
20日(日)	小嶋内科	余市町黒川町	22-2245
27日(日)	林病院	余市町山田町	22-5188

※受診される方は、あらかじめ病院等に電話確認をお願いします。

交通安全はみんなの願い

(ゼロ)
死亡交通事故 **0** の日

《後志第1位》
《全道第3位》

4,765日達成

(平成25年9月1日現在)

人のうぶき

世帯数/1,222世帯 (-4)
人口/2,405人 (-2)
男 /1,127人 (+1)
女 /1,278人 (-3)

●転入/1人(-2) ●転出/1人(-1)
●出生/1人(±1) ●死亡/3人(-2)

平成25年8月31日現在、()内は前月比

白山工藤
川田藤
敬隆 ツセ
子志

77 37 83
歳 歳 歳
日神入
司岬舸
町町町

おくやみ(死亡)

藤村 光
晴 崇
美
日司町

なまえ おとうさん
おかあさん
ところ

こんちちはよろしく(出生)

慶
弔
録